

ママと子どもの
言葉の力を育む講座

④

Language Training for
Mom and children

講師 Mariko

4.わかった！なんで？を育てる

前月の課題 子どもの好奇心を見つけよう

好奇心を育むために親ができることをシェアしてください♪

子どもの好きをたくさん挙げてみましょう

クイックレスポンス(問答ゲーム) を体験してみよう！

質問に対して「はい」または「いいえ」で答える。

そしてその理由を3つあげてください。

point

- ・答えの理由になっている？
- ・前置き、違う話をしていない？
- ・答えとしてツッコミどころがないかどうか

クイックレスポンス(問答ゲーム)の目的

- ・質問に的確に答える訓練(前置き、違う話をしない)
- ・違う立場にたって物事を考える訓練
- ・端的にわかりやすく伝える訓練
- ・考えをまとめる訓練
- ・タフな言語力を鍛える訓練
- ・**思考を深めるスタートライン！**

わかった！なんで？を育てる

- ・子どもの毎日に「わかった！なんで？」をたくさん経験させる

経験

- ・子どもの「わかった！なんで？」のときに親ができること

寄り添い

- ・「わかった！なんで？」がなぜ必要か

学びの土台

なぜなぜ期に寄り添うとその後の思考力が成長する

?

?

どうして花は咲くの？
どうして月は形が変わるの？
どうしてママは女の子なの？
どうして牛乳は白いの？
どうして虫歯になるの？
これは何でできてるの？

?

?

子どもの「なんで？どうして？」に答えるのはとても大変！
答えるのが難しい質問もたくさんできます。

大事なのは**答える**のではなく、**寄り添う**こと

疑問を持ったことを喜び、褒め、認めることが大事なのです。

『？？？』を育てるために必要な『！！！！』

できた！！！！
わかった！！！！
うわっ！！
え————！！！！
うそ————！！！！
なにこれ————！！

私の崇拜する先生 →



まだまだ及びません！

能面実験

マサチューセッツ大学の著名な心理学者エドワード・トロニック教授が行った能面実験

「still face experiment」でyoutubeで検索できます。

明るく優しく応答的に赤ちゃんに接していた大人が急に無表情になる実験。

2分もたたないうちに、それまで笑っていた赤ちゃんは、不安で落ち着きのない表情になり、体を反らせ泣き出します。赤ちゃんだけでなく、無表情で赤ちゃんに対応する大人も不安でやりきれない気持ちになります。

感受性豊かな子どもを育てるためには

- ①五感をフルに使ったさまざまな体験
- ②親が体験に寄り添うこと

寄り添うとは

見る→知る→言葉をかける

- ・教えない
- ・否定しない
- ・子ども主体

→Tune In

『3000万語の格差』の3つのTについておさらいしましょう

Tune In



子どもが何に興味関心をもっているかに
気づき、反応すること

- ・後の2つのTをする上で重要なこと
- ・大人が子どもの世界に注意する意識的な行動
- ・観察力が必要
- ・知性の原点
- ・デジタルは注意を向けているわけではない

Talk More



子どもと話す言葉を増やす

- ・Tune In と同時並行
- ・子どもにむかっていう言葉ではない
- ・こそあど言葉を除く
- ・知らない語彙を注ぐ
- ・赤ちゃんの頃はナレーション

Take Turns



子どもと交互にやりとりすることによって
対話につなげる

- ・Tune Inした後のやりとり
- ・オープンクエスチョンを使う
- ・待つことが大事 先取りしない
- ・想像力を育て、思考を深める

【図11-3】：こころと遺伝・環境の関係

(%)

社会的態度	自尊心	31	-	69
	一般的信頼	36	-	64
	権威主義的伝統主義	33	-	67
性役割	男性性 (男性)	40	-	60
	女性性 (男性)	39	-	61
	男性性 (女性)	47	-	53
	女性性 (女性)	46	-	54
発達障害	自閉症(親評定・男児)	82	-	18
	自閉症(親評定・女児)	87	-	13
	ADHD	80	-	20
物質依存	アルコール中毒	54	14	33
	喫煙 (男性)	58	24	18
	喫煙 (女性)	54	25	21

(安藤寿康「遺伝マインド」の一部を抜粋し、作成)

		遺伝率	共有環境	非共有環境
認知能力	学業成績	55	17	29
	論理的推論能力	68	-	31
	言語性知能	14	58	28
	空間性知能	70	-	29
	一般知能	77	-	23
性格	神経症傾向	46	-	54
	外向性	46	-	54
	開放性	52	-	48
	調和性	36	-	64
	誠実性	52	-	48
	新奇性追求	34	-	66
	損害回避	41	-	59
	報酬依存	44	-	56
	固執	37	-	63
	自己志向	49	-	51
協調	47	-	53	
自己超越	41	-	59	
才能	音程	80	-	20
	音楽	92	-	8
	美術	56	-	44
	執筆	83	-	17
	外国語	50	23	27
	チェス	48	-	52
	数学	87	-	13
	スポーツ	85	-	15
	記憶	56	-	44
知識	62	-	38	

言語性知能は共有環境による影響が最も大きい

共有環境＝家庭環境
非共有環境＝学校、社会

橘玲 『言ってはいけない』新潮新書

今月の絵本(11月)



今月のリトミック